

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	安心安全課 交通防犯係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）164】
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 6節 <input type="checkbox"/> 1項 機能的で調和のとれたまちづくり

業務の名称	巡回バス運営事業		
(1)根拠法令・条例	道路運送法第4条		
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>10.0%</u> (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>36.5</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>1</u> 人・日)		
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>111,196</u> 千円 (平成20年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4)補助率(補助金がある 場合のみ記載)	<u>28.7%</u> (平成20年度実績)		
(5)業務期間	開始した年度	平成10年度	終了(予定)年度 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

① 業務目的 (達成目標)	交通空白地帯の解消 高齢者や子供等の交通弱者の社会参加の促進 公共施設の利便性向上																																														
②業務が対象とする住民 (地域、層)	町内全地域 全町民																																														
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	名鉄バス(株)へ業務依頼 運行負担金67,577,400円、バス4台(2台購入、2台廃車)、8ルート、42便/日、359日/年で運行 バス購入及び維持管理 購入費等 43,619,003円																																														
④業務の実施結果 (平成20年度実績)	平成17年度は、万博が開催されていたため、著しく乗車数が伸びており、閉幕後もコンスタントに乗車数を伸ばしている。																																														
	<p align="center">【業務結果の説明指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度 実績</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>運行負担金(千円)</td> <td>62,321</td> <td>67,078</td> <td>66,948</td> <td>67,577</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>乗車人数(人/年)</td> <td>219,697</td> <td>145,367</td> <td>150,479</td> <td>162,308</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標	1	運行負担金(千円)	62,321	67,078	66,948	67,577	-	2	乗車人数(人/年)	219,697	145,367	150,479	162,308	180,000	3							4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標																																									
1	運行負担金(千円)	62,321	67,078	66,948	67,577	-																																									
2	乗車人数(人/年)	219,697	145,367	150,479	162,308	180,000																																									
3																																															
4																																															
5																																															

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (箇条書きで簡潔に記載)

運行本数がすくない。
 一方向巡回により利用がしにくい。
 路線が複雑である。
 始発が遅く、終発が早い。
 他の公共交通との接続性。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
平成17年3月に、リニモの開通に合わせて、路線の一部と時刻表を見直し、利便性の向上を図った。 平成18年4月に、こども塾の開設に合わせて、バス停を増設した。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	1点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	2点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.5点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) ④ 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	年々、乗車数は増加し続けているが、より使いやすくするため改善が必要。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
① 改善目標	利用者のニーズに対応した効率的な路線やダイヤに再編する。
②改善時期	平成21年度中に再編実施。
③改善方法	利用者実態調査やアンケート調査結果を基本として、再編を行う。